

2009 年度受託研究概要報告

ジュエリー工房 Takao 社製ジュエリー金具を使用した 各種デザインの可能性を追求する

研究メンバー

岩田広己 先端芸術学部造形表現学科准教授

委託者

株式会社ジュエリー工房 Takao

研究概要

ジュエリーとしての機能を持たせる部品（金具）は、一般的に身体に装着するジュエリーの定義として無くてはならないものであり、その形式は多種多様に存在している。その中において今回の研究依頼を受けた Takao 社製の金具は従来には無い個性的な要素を有しており、その機能を持つ金具を取り巻くデザインの可能性を探るべく、既成概念にとらわれることなく、デザインの追求を研究目的として行うものである。

研究成果

ジュエリー制作における、発想（コンセプト）、機能、コスト、需要性、制作を考慮し、ジュエリー&メタルコースの学生を中心に若い感性を期待すべく特殊性のある金具をもとにデザイン画を起こし検討した。

通常、ジュエリーの金具（主にネックレス留め金具）は機能的な構造が露出し、デザインの全体的な雰囲気や損ないがちであるが、Takao 社製の金具は機能とデザインの融合を効果的に行っている特徴があり、多角的な視点から検討、意見交換を行い、100点のデザイン案を提案した。

受託研究期間が1年間という短期間という条件もあり、Takao 社の時間的なスケジュール上、制作、製品化には期間内中に至らなかったが、あらゆる価値観を提案、意見交換をしたことで Takao 社、学生にとっても今後の展開の結果、期待性が大きく膨らむこととなる確信ができ、研究期間外ではあるが今後は成果の展示発表会の企画を予定である。



写真1 ジュエリー工房 Takao 社製 留め金具（各種）

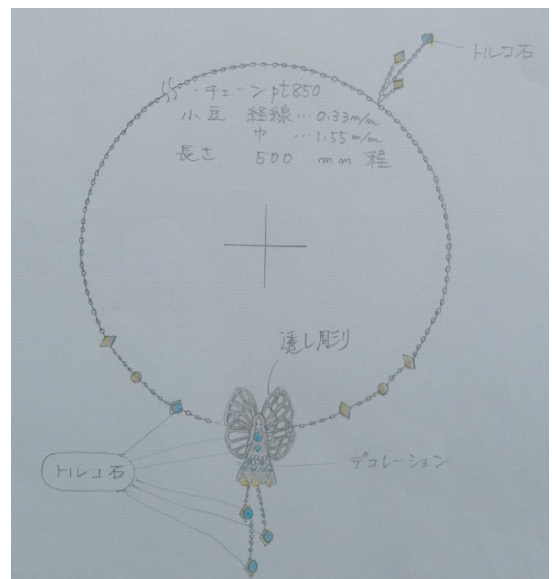


図1 学生デザイン画



写真2 ジュエリー工房 Takao 社での金具制作の体験及び研究